

身近なところに電池あり

－ 電池の昔、今、そして未来へ －

日時：令和元年10月5日（土） 15:00 ～ 16:30

場所：池田商工会議所 2階会議室
(C+D 会議室)
大阪府池田市城南1丁目1番1号

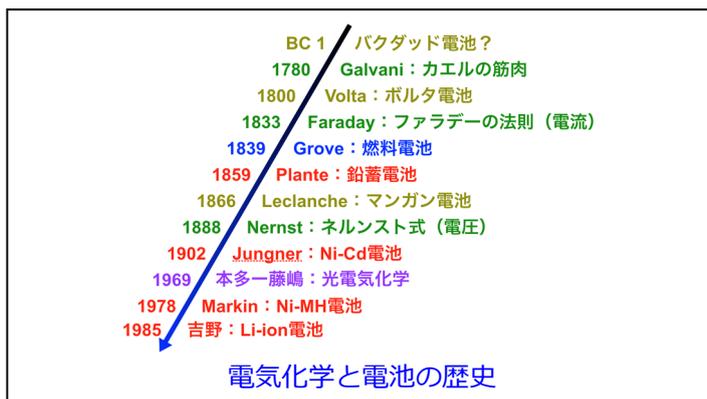
対象：一般、高校生以上

参加費：無料

(ドリンク、お菓子をご用意しています)

定員：40名

〆切：10月2日（水）



講師：産業技術総合研究所 電池技術研究部門 主任研究員 妹尾 博

内容：私たちの生活において、電気はガス・水道・電話・ネット等とともに不可欠の存在です。電気は非常に優れたエネルギーで、最近では太陽電池や風力発電などの自然エネルギーからの発電が普及してきています。

電池は化学の力を使って電気を作り出す手軽なデバイスです。「電池」と聞けばスーパーのレジの前で売っている乾電池や携帯電話のバッテリーをイメージする人が多いかと思います。実のところ電池は電気自動車や家庭用燃料電池など私たちの生活にドンドンと広がっています。その一部は関西センターで発明されました。

今回の講演では、そんな身近なところに使われている電池についてクイズ形式で楽しく紹介します。また、電池が発明された昔話から、今の生活で活躍する電池の仕組み、そして未来の電池に向けた産総研での研究について説明します。



主催：国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター

後援：池田商工会議所

【詳細・申込み先】

<http://www.aist.go.jp/kansai/>

(このホームページから申込んで下さい)

【問い合わせ先】

産業技術総合研究所 関西センター

(大阪府池田市緑丘1-8-31)

産学官連携推進室 kansai-cafe-ml@aist.go.jp